

就職活動状況 2015年6月

● 「就職みらい研究所REPORT」は、私たちが就職の“今”と“未来”を掴むために実施している、各種調査やフィールドワークから得た情報をお伝えしていきます。 ● 今回の「就職活動状況 2015年6月」では、2016年卒業の就職意向学生を対象に実施している「就職活動プロセス調査」の結果から、「就職内定者」と「就職活動実施者」の実態をご報告いたします。

※ 本資料内の用語や調査概要などは、『「2015年6月度 就職内定状況(2016年卒)【確報版】』や、『就職プロセス調査 2016年卒 調査報告書 -2015年6月度-』をご参照ください。

REPORT ① 6月1日時点の就職内定取得者(34.5%)の実態

- 内定取得後も就職活動を継続している学生が79.1%を占める。(⇒P2)
- 内定先企業へ「入社したい」と考えている学生は35.7%。(⇒P2)
- 進路確定先業種は、文・理系共に「情報サービス・調査業」が最も多い。(⇒P3)

《コンテンツ》

- | | |
|---------------------|------------------|
| 【1】 文・理/地域別に見た就職内定率 | 【4】 内定取得者の進路確定状況 |
| 【2】 内定取得者の、就職活動の実施率 | 【5】 進路確定先の業種 |
| 【3】 内定取得企業への入社意向度 | 【6】 進路確定先の企業規模 |
| | 【7】 内定者コメント抜粋 |



REPORT ② 6月1日時点の就職活動実施者(90.4%)の実態

- 5月中に「面接などの選考の受検」を行った学生が7割を超える。(⇒P5)
- 就職活動を辞退・キャンセルしたことがある学生は6割以上。(⇒P6)
- 文系において、就職活動が占める時間が5割以上であった(5月中)。(⇒P8)

《コンテンツ》

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 【1】 文・理/地域別に見た就職活動率 | 【4】 学生の志望状況 … 職種/企業規模 |
| 【2】 就職活動の内容/量 | 【5】 学生の志望状況の変化 |
| 【3】 キャンセルや辞退の状況 | 【6】 学業・就職活動・プライベートが占める時間 |
| | 【7】 就職活動への気持ちの高まり |

REPORT 1 6月1日時点の就職内定取得者(34.5%)の実態

【1】文理/地域別 内定率

- 選考開始の8月1日の2か月前の時点(6月1日)で、就職志望者の内定率は34.5%となった。
- 属性で見ると、全体より2ポイント以上高かったのは、「理系」「関東」であった。
- 前月調査からのポイントの差分(内定率の上昇分)で見ると、「関東」「中部」で大きく、「近畿」は8.8ポイントの上昇にとどまった。

		6月1日時点 (%)	5月1日時点 (%)	6月-5月の差分 (ポイント)
就職志望者全体		34.5	20.7	13.8
文理別	文系	33.3	19.4	13.9
	理系	36.8	23.7	13.1
地域別	関東	42.7	26.5	16.2
	中部	34.0	16.4	17.6
	近畿	26.0	17.2	8.8
	その他	29.0	16.7	12.3

【2】内定取得者の、就職活動の実施率

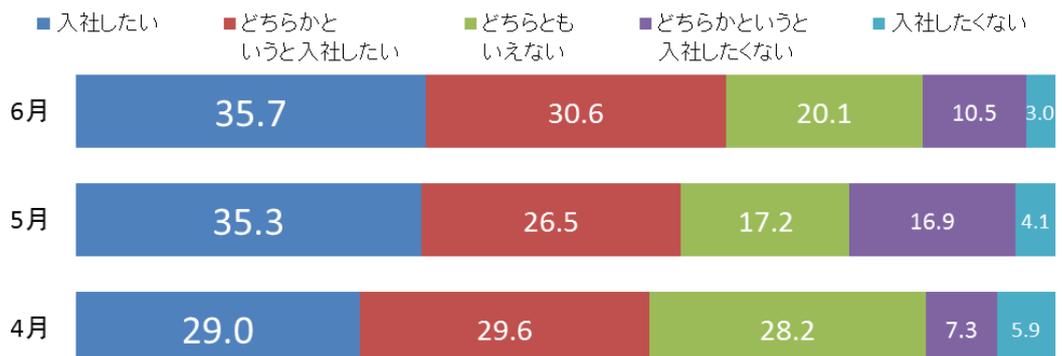
- 内定取得者の、就職活動実施の状況を見たところ、79.1%は就職活動を行っていた。
- いずれの属性でも、8割前後の活動率であった。

		就職活動 実施率 (%)
内定取得者 全体		79.1
文理別	文系	80.4
	理系	76.8
地域別	関東	77.6
	中部	82.5
	近畿	81.7
	その他	77.6

※内定未取得者を含む全体の活動率は、「REPORT 2」をご参照ください。

【3】内定取得企業への入社意向度

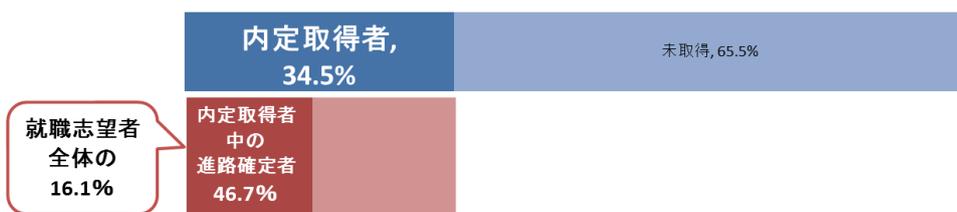
- 内定取得企業への入社意向は、「入社したい」(35.7%)「どちらかというに入社したい」(30.6%)は、4月・5月と比して増加している。



※4月・5月・6月はいずれも1日時点

REPORT ① 6月1日時点の就職内定取得者(34.5%)の実態

【4】内定取得者の進路確定状況



● 内定取得者(34.5%)の進路の確定状況を見ると、46.7%が進路を確定させている。(就職志望者全体に対する割合は16.1%)

【5】進路確定先の業種

- 進路確定先の業種は、文・理系ともに、情報サービス・調査業(ソフトウェア・情報処理等)を確定先とする学生が最も多かった。※ 下表は、確定先(列①、単一回答)として選んだ学生が多い順に20業種を掲載。
- また、文・理系それぞれに、就職活動実施者の志望業種(列②、複数回答)と比較し差分を出してみた(列③)。差分の赤い文字は、志望者数の割合より確定者の割合が高い業種で、早めのペースで確定していると思われる。一方、青い文字は志望者の割合に比べ確定者割合が低く、志望者の量に比して確定は進んでいないと思われる。

《文系》

※確定先業種の割合による降順

	① 確定者の 確定先 業種(%)	② 就職活動 実施者の 志望業種 (%)	③ 差分 (ポイント)
情報サービス・調査業 (ソフトウェア・情報処理等)	14.4	13.3	1.1
百貨店・スーパー・コンビニ・ DIY・生活協同組合	11.4	10.8	0.6
商社	8.2	20.7	-12.5
食品	5.8	15.4	-9.6
不動産	5.6	7.4	-1.8
人材関連(派遣・斡旋等)	5.3	5.0	0.3
飲食店	5.2	2.8	2.4
専門店	4.6	4.7	-0.1
医療・福祉	3.8	6.4	-2.6
インターネット付随サービス業	3.6	3.6	0.0
鉄道・道路旅客運送・海運・ 航空・その他の運輸業	3.3	13.1	-9.8
旅館・ホテル・レジャー	3.2	7.1	-3.9
建設・工事業	3.0	3.7	-0.7
専門サービス業 (法律事務所・税務事務所等)	2.9	8.2	-5.3
機械・プラント・エンジニアリング	2.0	6.7	-4.7
証券	2.0	6.6	-4.6
繊維	1.9	6.1	-4.2
旅行業および運輸に 付随するサービス業	1.9	9.4	-7.5
教育・学習支援 (各種学校・塾・予備校等)	1.9	5.7	-3.8
銀行・信用金庫・ 信用組合・労働金庫	1.6	24.8	-23.2

《理系》

※確定先業種の割合による降順

	① 確定者の 確定先 業種(%)	② 就職活動 実施者の 志望業種 (%)	③ 差分 (ポイント)
情報サービス・調査業 (ソフトウェア・情報処理等)	23.7	20.8	2.9
医薬品	8.4	12.4	-4.0
機械・プラント・エンジニアリング	7.5	12.5	-5.0
自動車・鉄道・航空機等製造・ 同部品製造	7.5	9.6	-2.1
建設・工事業	6.2	8.2	-2.0
商社	5.7	10.4	-4.7
インターネット付随サービス業	5.0	4.6	0.4
医療・福祉	4.8	10.8	-6.0
食品	3.3	19.9	-16.6
専門サービス業 (法律事務所・税務事務所等)	3.1	4.1	-1.0
百貨店・スーパー・コンビニ・ DIY・生活協同組合	3.0	3.3	-0.3
通信	2.5	4.7	-2.2
その他の製造業	2.5	3.4	-0.9
電機・電子・OA関連・精密機器	2.5	12.4	-9.9
精密機械器具製造業	2.4	6.5	-4.1
飲食店	2.3	3.8	-1.5
専門店	2.1	2.2	-0.1
鉄鋼・非鉄金属・金属	2.1	4.7	-2.6
その他のサービス業 (理美容・自動車整備等)	1.9	2.1	-0.2
印刷関連	1.1	5.2	-4.1

※ 確定先は10%以上のものを太字、差分は+上位3件は赤字・網掛け、-上位3件は青字・網掛けとした。

REPORT 1 6月1日時点の就職内定取得者(34.5%)の実態

【6】進路確定先の企業規模

- 進路確定先の企業規模は、1000人～4999人がもっとも多く26.6%、次いで500～999人が20.5%となった。
- 就職活動者全体の志望する企業規模と比べてみても、1000人～4999人規模での確定が多かった。

■ 確定者確定先規模 (%)			50人未満	50人～99人	100～299人	300人～499人	500人～999人	1000人～4999人	5000人以上	志望する企業規模が決まっていない
確定者全体			4.4	7.8	18.6	11.4	20.5	26.6	10.7	—
就職活動者全体	志望する企業規模(複数回答)	(%)	7.7	12.2	30.5	28.9	28.3	27.5	18.5	27.2
		差分(ポイント)	-3.3	-4.4	-11.9	-17.5	-7.8	-0.9	-7.8	—
	もっとも志望する企業規模(単一回答)	(%)	3.2	5.7	22.0	15.5	17.7	21.1	14.8	
		差分(ポイント)	1.2	2.1	-3.4	-4.1	2.8	5.5	-4.1	

【7】内定者コメント抜粋

- 就職活動は、内定が出てからどれくらい続けるべきか悩んでいる。志望度が高い企業から内定をもらったが、いざそこに決めようとするとう迷いが少し出てしまう。(北海道・東北、理系)
- 大学1年生の頃からインターンシップに参加していたことから、エントリー解禁の日には志望業界もきちんと絞れていたことは良かった。出会う企業は全て良いところで、様々な憧れる社員の方に出会えたことは本当に貴重な経験だった。この人みたいになりたい、と思える人に何人も出会えた。(関東、文系)
- これまでの経験に意味付けをできている人は前向きに動けるし、そうではない人は迷っている。早く動き出した人ほど成功している傾向も見えると思う。前向きに捉えられない人が多く、もったいないな、と思う。(関東、文系)
- 企業によりスケジュールが大きく異なるため、周りとは比べ焦ってしまう。また、この時期はどう立ち回れば良いのか分からなかったりする。(関東・理系)
- 自分を採用してくれた企業が自分に合った企業だと思うので、自分に合った企業を見極めるという意味では採用も不採用も自分にとっては良い結果だと思う。(中部、文系)
- 昨年の11月から念入りに準備していたということもあり、就職活動はそこまで挫折がなく進めたと思う。多くの就活生・社会人と会話をすることにより、いろいろな考え方や視点があることに気づき、良い刺激を受けた。(中部、文系)
- いつ就職活動をやめていいのかわからない。現在、内々定をいただいている企業があるが、必ずそこへ行きたいわけではない。まだ就職活動を続けているが、いい結果をいただける企業がない。内々定をいただいた企業へ就職することが正解なのか、不安に思う。(中部、理系)
- 最近は暑くなってきたので体力的にも以前より厳しくなり、疲れも溜まってきた気がする。一方でエントリーシートの提出やテストの受験の依頼や締切が近づいている企業が増えてきたので、今がある意味正念場なのかもしれないと感じている。(近畿、文系)
- 金銭的に限界が来ています。本当に受けたい企業が交通費の都合上辞退しなければならないこともあるのが辛いです。(九州、文系)
- 就職活動を始めた頃はこれから働く企業を見つけてそこに就職できるようにすることが目標だったが、エントリーシートや面接を通して今まで気付かなかった自分の一面や考え方に会うことができ、就職先に内定を貰うだけが就職活動ではないのだと感じた。(九州、理系)

REPORT ② 6月1日時点の就職活動実施者(90.4%)の実態

就職活動 実施者
90.4%

【1】文理/地域別 活動率

- 6月1日時点の学生の活動率は90.4%であった。前月の調査結果と比べると3.5ポイント減少した。
- 属性別で見ると、理系・関東・その他地域で90%以下となっている。

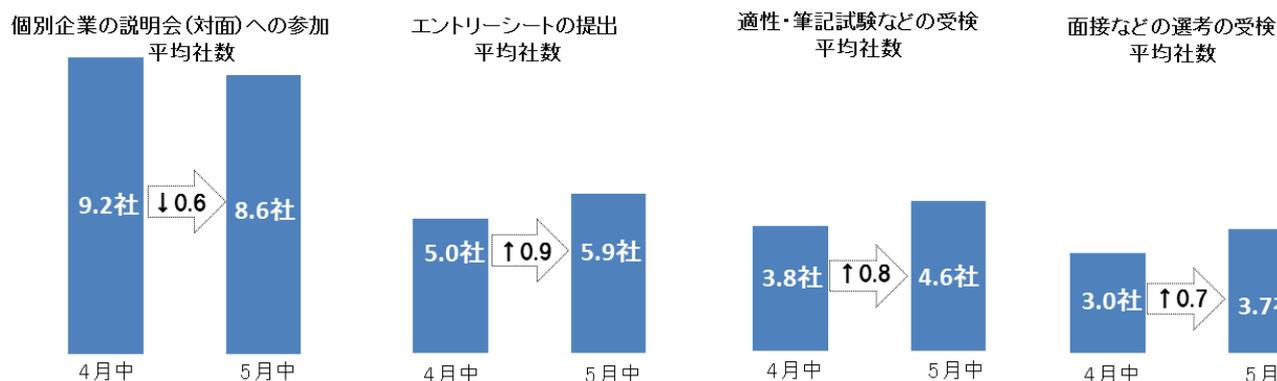
		6月1日時点 就職活動 実施者(%)	5月1日時点 就職活動 実施者(%)	6月-5月差 分(ポイント)
就職志望者全体		90.4	93.9	-3.5
文理別	文系	91.5	94.4	-2.9
	理系	88.2	92.8	-4.6
地域別	関東	90.0	94.7	-4.7
	中部	91.4	93.2	-1.8
	近畿	91.4	91.0	0.4
	その他	89.3	96.2	-6.9

【2】就職活動の内容/量

- 就職活動実施者が、5月中に行った活動内容を尋ねたところ以下の結果となった。下表では、4月中の実施内容との比較をしている。
- 5月中に行った内容のうち、「情報収集の実施」(77.2%)、「エントリーシートの提出」(73.2%)、「面接などの選考受検」(70.8%)は7割以上の学生が実施している。
- 前月の活動との差分を見てみると、「エントリー・資料請求」「大学の説明会・セミナー」「大学外の説明会・セミナー」は10ポイント以上減少。「面接などの選考を受検」は10ポイント以上増加した。

■実施した 就職活動の内容 ※活動を実施した 人の割合 (%)		情報収集の実施	OB・OG、社会人への訪問	リクルーターとの接触	就職情報サイト登録	エントリー・資料請求の実施	大学や先生の推薦で応募	大学の説明会・セミナー参加	大学外の説明会・セミナー参加	個別企業説明会参加(対面)	個別企業説明会参加(Web上)	適性・筆記試験の受検	エントリーシートの提出	面接などの選考を受検	インターンシップへの参加	その他
		5月の活動 (6月調査)	活動者全体	77.2	11.1	15.9	11.6	53.3	3.0	18.8	26.1	60.0	17.6	69.8	73.2	70.8
	文系	78.2	11.4	16.3	12.9	55.2	2.0	18.7	28.3	62.6	19.8	72.5	75.6	71.7	5.6	1.0
	理系	75.0	10.4	15.1	9.1	49.3	4.9	18.9	21.6	54.7	13.1	64.1	68.1	68.9	4.0	1.5
4月の活動 (5月調査)	活動者全体	82.4	12.6	13.9	18.6	64.6	3.5	29.8	39.0	67.1	27.1	67.9	72.7	57.9	5.3	0.7
	文系	82.7	12.6	13.3	18.2	65.9	3.3	29.8	42.2	67.5	28.7	68.1	73.4	58.8	5.3	0.2
	理系	81.9	12.5	15.1	19.5	62.0	3.9	29.9	32.6	66.2	23.8	67.3	71.4	56.0	5.3	1.7
5月-4月(全体)の差分		-5.2	-1.5	2.0	-7.0	-11.3	-0.5	-11.0	-12.9	-7.1	-9.5	1.9	0.5	12.9	-0.2	0.5

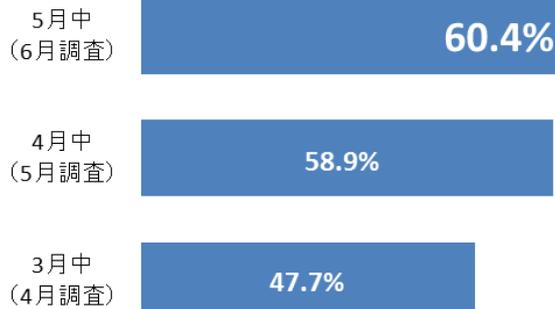
- 以下のグラフは、活動を実施した人の割合が高かった4項目それぞれの、平均社数である。
- 「個別企業の説明会参加(対面)」は社数が減少しているが、他の3項目は0.7~0.9社の増加となった。



REPORT ② 6月1日時点の就職活動実施者(90.4%)の実態

【3】キャンセルや辞退の状況

- 5月中の就職活動で、キャンセルや辞退を行ったという学生の割合は60.4%と3月以降増加傾向が見られる。
- キャンセルや辞退を行った内容(複数回答)については、「個別企業の説明会(対面)」が3割を超え、「エントリーシート提出」「面接などの選考」が2割超となった。
- 前月との比較では、「面接などの選考」の辞退率が最も増加している。



■ 辞退やキャンセルをした内容 (%)

※ 辞退やキャンセルをしたことが有る学生/複数回答

		OB・OG、社会人への訪問	リクルーターとの接触	大学や先生の推薦で応募	大学の説明会・セミナー参加	大学外の説明会・セミナー参加	個別企業説明会参加(対面)	個別企業説明会参加(Web上)	適性検査や筆記試験の受検	エントリーシートなどの書類提出	面接などの選考を受検	インターンシップへの参加
		5月中の活動 (6月調査)	全体	0.8	2.8	0.9	4.6	10.0	31.6	3.2	12.0	23.9
	文系	0.7	3.1	1.0	5.2	11.3	34.9	3.1	13.3	24.6	21.7	0.8
	理系	1.0	2.1	0.6	3.4	7.3	24.9	3.6	9.3	22.4	19.0	0.4
4月中の活動 (5月調査)	全体	2.4	2.8	1.4	5.6	10.1	33.5	4.6	10.8	22.0	14.8	0.7
	文系	2.4	2.7	1.4	5.5	10.8	34.2	5.2	11.4	22.2	14.0	0.8
	理系	2.4	3.0	1.5	5.9	8.6	32.0	3.2	9.7	21.8	16.4	0.6
5月-4月(全体)の差分		-1.6	0.0	-0.5	-1.0	-0.1	-1.9	-1.4	1.2	1.9	6.0	0.0

【4】学生の志望状況 … 職種/企業規模

《志望職種》

- 5月中の就職活動で、志望していた職種(複数回答)を尋ねたところ、上位は「営業関連職」(38.9%)、「事務・スタッフ関連職」(38.7%)となった。
- 前月との比較では、「営業関連職」(-5.4ポイント)と「商品企画・マーケティング関連職」(-4.7ポイント)の志望の割合が減少した。

■ 就職活動実施者の志望職種 (%)

※ 複数回答

		まだ志望する職種が決まっていない	営業関連職	商品企画・マーケティング関連職	事務・スタッフ関連職	流通・サービス関連職	研究・開発関連職	生産・品質管理・設計関連職	土木・建築・設計関連職	コンピュータ・通信・ソフトウェア関連職	金融スペシャリスト	専門・スペシャリスト	クリエイティブ関連職	その他
		5月中の志望 (6月調査)	活動者全体	10.2	38.9	30.6	38.7	13.8	10.0	13.0	3.0	12.9	5.1	11.2
	文系	12.0	46.4	34.6	48.7	17.7	1.8	3.9	0.8	9.2	6.8	9.7	9.9	1.2
	理系	6.4	22.7	21.9	17.4	5.4	27.5	32.3	7.7	20.8	1.6	14.4	5.2	1.1
4月中の志望 (5月調査)	活動者全体	9.2	44.3	35.3	39.5	12.7	8.7	12.8	2.3	11.3	5.1	10.7	7.5	0.8
	文系	11.0	51.6	39.7	49.9	15.7	0.3	3.4	0.9	6.3	6.4	9.4	8.0	0.5
	理系	5.5	28.7	25.7	17.2	6.3	26.8	33.1	5.2	21.9	2.3	13.6	6.5	1.5
5月-4月(全体)の差分		1.0	-5.4	-4.7	-0.8	1.1	1.3	0.2	0.7	1.6	0.0	0.5	0.9	0.4

REPORT ② 6月1日時点の就職活動実施者(90.4%)の実態

《志望する企業規模》

● 5月中の就職活動で、志望していた企業規模(複数回答)を尋ねたところ、「100人～299人」(30.5%)が最も高い割合となった。● 前月との比較では、「まだ志望する企業規模が決まっていない」が3.7ポイントの減少。一方、「100人～299人」が、3.2ポイント増加した。

■就職活動実施者の志望する企業規模 (%) ※複数回答		まだ志望する企業規模が決まっていない	50人未満	50人～99人	100～299人	300人～499人	500人～999人	1000人～4999人	5000人以上
6月調査 (5月の志望状況)	活動者全体	27.2	7.7	12.2	30.5	28.9	28.3	27.5	18.5
	文系	28.2	8.0	13.7	31.8	27.6	27.4	27.9	17.2
	理系	25.0	7.0	9.0	27.9	31.7	30.1	26.6	21.2
5月調査 (4月の志望状況)	活動者全体	30.9	6.3	10.9	27.3	30.2	29.4	29.6	18.0
	文系	33.7	6.8	11.9	26.4	28.2	26.6	27.5	14.7
	理系	24.9	5.3	8.7	29.4	34.4	35.4	34.1	25.0
6月-5月(全体)の差分		-3.7	1.4	1.3	3.2	-1.3	-1.1	-2.1	0.5

【5】学生の志望状況の変化

● 6月1日時点で就職活動を実施している学生に、前月と志望が変わったものを尋ねたところ、36.2%の学生が志望に変化があったと回答した。

志望が変わった、
36.2%

特に変わったものは無い、
63.8%

● 変わった内容(複数回答)は、「業種」(14.9%)が最も多く、次いで「企業規模」(11.7%)「職種」(11.4%)であった。

	企業規模	業種	職種	地域	進路	その他
活動者全体	11.7	14.9	11.4	9.3	2.8	0.9
文系	11.9	16.3	11.9	9.2	2.9	1.0
理系	11.2	12.1	10.4	9.7	2.6	0.5

● 業種の志望が変わったと回答した学生に、変化の内容を尋ねると、「志望業種を広げた」(59.4%)が多かった。

	全く異なる業種を志望	志望業種を広げた	望業種を絞った	こだわらなくなった	その他
活動者全体	9.8	59.4	23.4	7.1	0.2
文系	9.5	61.9	22.1	6.1	0.3
理系	10.6	51.9	27.4	10.1	0.0

● 企業規模の志望が変わったと回答した学生に、変化の内容を尋ねると、「大手企業から中小企業へ志望が変化した」(32.4%)と「こだわらなくなった」(29.3%)が多かった。特に理系で「大手企業から中小企業へ志望が変化した」は高い割合であった。

	※〇〇から××へ変化した	大手⇒中小	中堅⇒大手	中堅⇒中小	中小⇒大手	中小⇒中堅	こだわらなくなった	その他
活動者全体	32.4	12.4	9.4	5.3	9.2	29.3	2.1	
文系	29.0	15.4	11.7	3.8	10.8	28.0	1.2	
理系	39.8	5.7	4.1	8.6	5.4	32.3	4.0	

● 職種の志望が変わったと回答した学生に、変化の内容を尋ねると、「志望職種を広げた」(62.4%)が多かった。

	全く異なる職種を志望	志望職種を広げた	志望職種を絞った	こだわらなくなった	その他
活動者全体	7.9	62.4	24.4	5.4	0.0
文系	11.1	61.7	23.6	3.5	0.0
理系	0.0	64.0	26.2	9.9	0.0

● 勤務地の志望が変わったと回答した学生に、変化の内容を尋ねると、「広げた」「絞った」双方の変化が見られた。

	全く異なる地域を志望	志望地域を広げた	志望地域を絞った	こだわらなくなった	その他
活動者全体	2.6	45.6	36.4	15.4	0.0
文系	3.8	48.8	34.4	13.0	0.0
理系	0.0	38.9	40.6	20.5	0.0

REPORT ② 6月1日時点の就職活動実施者(90.4%)の実態

【6】学業・就職活動・プライベートが占める時間

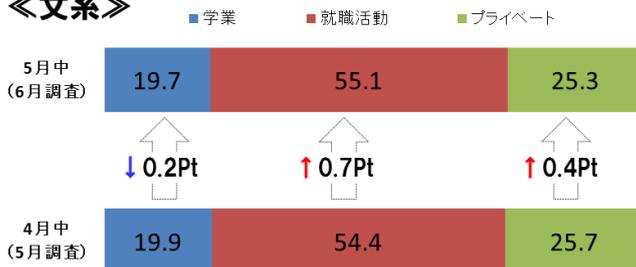
● 5月中の時間を「100」とした場合の「学業／就職活動／プライベート」の割合を尋ねた結果、文系と理系で大きく時間の配分が異なった。

(活動実施者平均)

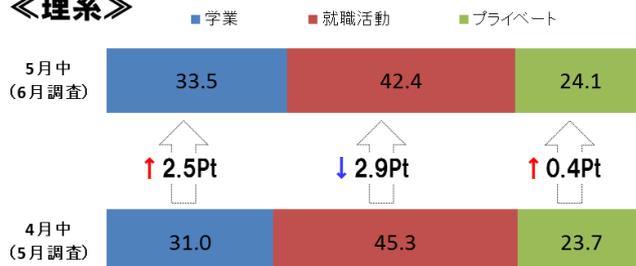
《文系》 4月中とあまり変化はなく、「就職活動」が55.1%と半分以上の時間を占めていた。

《理系》 文系に比して「学業」(33.5%)に割いている時間が多く、前月よりも増加した。「就職活動(42.4%)」に割く時間は、前月から2.9ポイント減少した。

《文系》



《理系》



【7】就職活動への気持ちの高まり

- 6月1日時点での就職活動への気持ちの高まりを「0～10」の11段階で学生の尋ねた。
- 以下に、「8～10」と「0～3」を選んだ学生のコメントを紹介する。

「8～10」の学生のコメント

- 内定をもらった企業もあるが、第一志望の企業はこれから選考があるため。(北海道・東北、文系)
- 本命の選考はまだまだこれからだが、押さえとして受けていた企業はどれも順調に選考を通過しつつあったため。(関東・文系)
- 五月はかなりいろんな企業の選考を受けてそれなりに社会人になる自覚を得たからです。(関東・文系)
- 希望しているところではなかったとはいえ、面接まで進んでいた企業があったため。(関東、理系)
- 自分自身の人生を見つめ直すきっかけになったから。(中部、文系)
- 内定を保持していながらも、他の企業の選考も進んでおり、就職活動がピークだったため。(中部、文系)
- 多くの社員とお会いする機会が多くなってきたため。(近畿・文系)

「0～3」の学生のコメント

- 部活の大会で忙しく就活どころではなかった。(近畿、文系)
- 面接が重なり、精神的にも体調的にも苦しい時期だったため気持ちの高まりはほぼなかった。(近畿、文系)
- ほぼ確定だが、一応続けようかという感じ。(関東、文系)
- 4月に内々定をいただいたことから気が抜けて就活に対するモチベーションは消えた。(関東、文系)